學而勞不若逸而遊此今醫之意也若今爲人上者下法曰醫而不學廢其家業者削官沒祿乃必有負笈懷書之人也不然則其不知一字固其所也

〔風俗見聞錄二〕醫業の事　今の醫師は醫道の本意を失ひ猥りに驕奢にほこり欲情のつよき事言語同斷なり醫は元仁術にして人を助くるを元とし其病源を探り得て其病苦を救ふを專務とするもの也韓退之が曰宰相となつて天下を醫せんや醫師となつて人の危急をすくはんやといへり聊も欲情ありては其妙術を施す事不能也蜀の關羽腕に矢疵を得し時醫華陀に療せしむ日ならずして愈る關羽喜びて謝禮して黃金百謚を與ふ華陀が曰く予は病を療ずるもの也かならず黃金を好むものに非ずと辭して不請と云醫道は元來聖敎の道にて佛道の慈悲と相對する程のこと也既に耆婆扁鵲は佛菩薩の化身などいへり我邦にても和氣丹波の頃は勿論の事近來金守道三甲斐德本など始其外とても驕奢安逸の心なく別て欲情は絕てなし一途に仁術を施したる者なり然るに當世の玄師は御代の結構過ぐるに任せて醫術の修業怠りて奢侈に募り衣服美麗を盡し住所も玄關書院其外結構家從等迄も權式を張り家內賑やかに暮し不行狀を盡し飲食の樂を常とし醫道の玄妙至らざる故深切の情更になき故表向を飾つて左も藥醫の體を見せて人を訛すなり又世間の人々も右體立派なれば療治も其如く上手成ると心得て尊ぶなり雙方心に實儀なき故眼くらみて是非を見分くる事不能又業體に對して欲情の深事言語同斷の事にて或は有識の家又は卑賤たり共富貴なる病人へは丁寧に療治をなし貧窮のものへは疎略になし殊に官醫又大小名の醫師などは別て權高く病家へ見廻るにも駕に乘り若黨陸尺其外の供廻り武士の如く又醫者の供廻とて一ト風替りて當世の流行醫故病用の鬧敷體に見せなすとて道を急ぎ走りて却て武士の往來よりも騷敷行違に人を惱まし或は喧嘩を仕かけ若又藥箱などに當りしものあれば忽ち打擲をいたし彼道にて藥箱は大切